様式２

令和7年　4月　15日

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	A型就労サポート「ひまわり」
住　所	京都市中京区聚楽廻東町15-1グラン・ドムール聚楽2階
電話番号	075-813-0205

事業所番号	2610381481
管理者名	大川照美
対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞

活動場所　A型就労サポート「ひまわり」事業所内

実施日程　令和6年8月～11月における平日午後に適宜

実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要

施設外就労の無い日、又は施設内就労の日において、利用者が参集し、新たに設けた図書コーナーを活用した自己啓発や各種スキルの学習をどのように行うか、サービス管理責任者や福祉専攻大学生よりレクチャーをした。なお、BCPに基づく防災研修と訓練を実施。（利用者とは別に、職員に対しても図書コーナー活用とBCPについて適宜レクチャー実施）

利用者数　等　利用者10人

＜目的＞

利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい

利用者各自の個別支援計画に基づき、一般就労に向けたスキルアップや、従事業務に関する個別知識やスキルの獲得、自ら学んでいく習慣を獲得し、仕事や社会生活の充実に資することを目的として実施。

利用者にとってのメリット

個別支援計画での目標達成や、一般就労に向けた自信の獲得、社会生活での不安解消など課題となっていることに対応できると考える。

＜成果＞

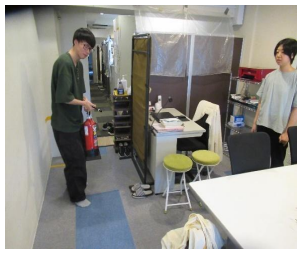
実施した結果　複数回に分けての実施だったので利用者全員が参加できた。

得られた成果　図書活用の方法、自己啓発の重要性、災害から身を守る基本的知識等、社会で必要とされる知識が獲得できた。

課題点　利用者相互の連携や助け合い（共助）などを体得するには、1回の参加者を増やし、体験型の研修会が望ましいと考える。

＜活動の様子＞

「ひまわり」施設内に図書コーナーを設置し、利用者の図書利用活用に関する研修会（レクチャー）を実施



BCPに基づく防災研修・訓練を実施（利用者対象）

連携先の企業や事業所等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

大学生からは、図書コーナー設置が斬新であると評価。事業所内では、幅広い分野の図書が整備されたことで、利用者だけでなく職員も活用するだろうと評価。

今後の連携強化に向けた課題

図書コーナーは、利用者と地域との連携のきっかけとなるのでイベント等の企画も検討する。BCP研修においては、地域の避難所などへの経路確認も今後必要。

連携先企業（担当者）	同志社大学社会学部社会福祉学科　田中綾乃

利用者からの意見・評価

参加した利用者からの意見・評価
〇普段、本を読まないが、漫画を含め、いろいろな種類の本があるので興味がわいた。
〇社会人として必要な知識を獲得したいという意欲が出た。
〇BCPの内容は難しかった。個人として地震などの災害にどう備えておけばよいか理解できた。